

住民税均等割も増税に 消費税増税に追い打ち

4月から消費税5%が8%に増税されますが、住民税も均等割が増税になります。いままで県民税1,000円、市民税3,000円の合計4,000円でしたが、県民税で大震災復興分500円とぐんま緑の県民税700円、市民税大震災復興分500円が上乘せされ、合計5,700円になります。復興分は、平成26年度から35年度までの10年間、緑の県民税は平成26年度から30年度までの5年間続きます。

待機児童解消へ・・・市内保育園

大都市などでは認可保育園に入園できない子供たち(待機児童)が問題になっていますが、沼田市では市内12園に定員を少し超える(104.64%)1172人の子供たちが入園希望を提出し、全員入園が決定しています。

また、新年度から第三子以降の保育園及び幼稚園の保育料は完全無料化になりました。



金婚・ダイヤモンド婚慶祝事業

市内に一年間以上住んでいる夫婦で、結婚50年・60年の記念に祝賀会への招待や記念品を贈ります。本人からの申請が必要です。

救急医療情報キット給付事業



一人暮らしの高齢者などを対象とした、救急医療情報キット給付事業が始まります。お年寄りの持病やかかりつけ医、連絡先などを記入した資料を円筒形の器に入れて、冷蔵庫などに保管できるようにします。緊急事態の場合に、救急隊員や駆けつけた関係者が、本人が話せない状態でも正確な情報が得られ、対応できるようにしておきます。

路線バス・デマンド交通研究事業



井之川博幸議員

現在のバス路線の大半が、廃止バス路線代替バスです。これは、関越交通が廃止したバス路線を沼田市などが代わりに引き継いでバスを走らせているというのですが、実際は関越バスに委託して、市民の足を確保するという理由で財政的な負担をしています。しかし、本数も少なく料金も高いので年々利用者が減少しています。

このような状況を打開するために、高齢者にも利用しやすいデマンド方式が全国各地で取り入れられています。

本市でも井之川博幸議員など何人かの議員が、デマンド方式を推奨し、一度は取り入れられる寸前まで来ましたが、中止になり以前の方式で現在は運行されています。しかし、乗客の減少は続き、路線そのものの継続も困難になってきています。抜本的な改革が必要です。これらの意見も取り入れられて、デマンド交通研究事業が取り組まれます。



つぼみサポート事業

集団保育等になじめない、いわゆる軽度の発達障害などの子供たちをサポートする事業です。専門の嘱託員を1人雇います。

大人の風疹・子どもの水ぼうそう ・高齢者の肺炎球菌予防接種に補助実施

いままでの法定予防接種などに加え、大人の風疹対策として予防接種に補助、子どもの水ぼうそう・65歳以上の肺炎球菌の予防接種にも補助を実施する予定です。

豪雪対策が一步前進

豪雪対策の国の補助率が3割から、今回は5割に前進しました。これにより残りの5割を県・市で補助すれば、全額補助が実現します。



豪雪でつぶれたハウス(左)右は無事

2014年3月9日	693
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町 983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	